

ESET 法人向け製品 ライフサイクルポリシー

第 10 版

2024 年 2 月 29 日

キャノンマーケティングジャパン株式会社

目次

1. はじめに.....	3
2. ライフサイクルポリシーの目的.....	4
3. ライフサイクルポリシーの前提.....	5
4. サポートの内容.....	6
5. プログラム・サービスの分類.....	7
6. カテゴリーA ライフサイクルポリシー.....	9
7. カテゴリーB ライフサイクルポリシー.....	13
8. カテゴリーC ライフサイクルポリシー.....	16
9. カテゴリーD ライフサイクルポリシー.....	18
10. OS サポートについて.....	20
11. その他互換性について.....	23
12. 変更履歴.....	24

1. はじめに

本資料では、以下のプログラムのライフサイクルポリシーをご案内しております。

- ESET Endpoint Security
- ESET Endpoint アンチウイルス
- ESET Endpoint Security for OS X
- ESET Endpoint アンチウイルス for OS X
- ESET Endpoint アンチウイルス for Linux
- ESET Endpoint Security for Android
- ESET Server Security for Microsoft Windows Server
- ESET File Security for Microsoft Windows Server
- ESET Server Security for Linux
- ESET File Security for Linux
- ESET PROTECT on-prem
- ESET Management エージェント
- ESET Inspect on-prem
- ESET Full Disk Encryption
- ESET Endpoint Encryption Client
- ESET Endpoint Encryption Server
- ESET Bridge
- ESET PROTECT
- ESET Inspect
- ESET LiveGuard Advanced
- ESET Cloud Office Security

ライフサイクルポリシーでは、以下を定義します。

- 提供するサポート内容
- サポート終了までの過程

2. ライフサイクルポリシーの目的

サイバー攻撃は日々巧妙化、高度化が進んでおり、新たな技術やサービスも瞬時に攻撃の対象となりえます。このような日々巧妙化するサイバー攻撃から企業の IT 資産を守ることは、事業継続においても大変重要な課題と言えます。

ESET 社ではこのようなサイバー攻撃に対応するため、セキュリティ対策機能を強化した新バージョンを随時公開しております。お客さま環境を守るため、ESET 製品は最新バージョンにして使っていただくことを推奨しております。また、最新バージョンの公開に伴い、旧バージョンは順次サポートを終了します。

ライフサイクルポリシーは、お客さまに最新バージョンへの移行をスムーズに行っていただくため、サポート終了の詳細や時期を事前にお知らせするものです。

キャノンマーケティングジャパン株式会社（以下、キャノン MJ）では、ESET 社の方針に基づき、ESET 社が公開しているライフサイクルポリシーを日本国内のお客さま向けに翻訳・編集して公開します。

サポート終了後は、検出エンジンの配信のほか、キャノン MJ グループが運営するサポートセンターでのお問い合わせ対応も終了となります。

ライフサイクルポリシーを参考に、ご利用中のプログラムがサポート終了になりませんよう、定期的なバージョンアップを検討・実施していただきますようお願いいたします。

※ なお、ESET 社が必要であると判断した場合には、ライフサイクルポリシーの定めるルールによらず、サポートステータスを変更する場合があります。その場合、ESET 社はその情報を事前に開示し、キャノン MJ は可能な限り速やかにその情報を日本国内のお客さまにお知らせします。

3. ライフサイクルポリシーの前提

ライフサイクルポリシーでは、以下の表現を使用します。
次ページ以降をお読みになる前に、必ずご確認ください。

「バージョン」の定義

ESET 製品のバージョンは、「.」で区切られた 4 つの数字から成り立ちます。
バージョンを構成する数字をそれぞれ以下のように呼称します。

例) バージョン 11.0.2032.0 の場合

11.	0.	2032.	0
メジャーバージョン	マイナーバージョン または サービスリリース	ビルド番号 または パッチレベル	追加識別子 (言語バージョンなど)
機能アップデート (Feature update)		サービスアップデート (Servicing update)	

※一部製品では、追加識別子が省略される場合があります。
※ESET Cloud Office Security は、特定の短縮バージョン番号で表記します。

機能アップデート / サービスアップデートは、それぞれ以下の変更を含みます。

	プログラムの変更内容の目安
機能アップデート	・プログラムの大きな変更（ソースコードの見直しなどのオーバーホールや、アーキテクチャの変更） ・機能の追加 ・対応 OS の変更
サービスアップデート	・セキュリティや安定性向上のための変更 ※機能面の変更はありません

機能アップデートとサービスアップデートの組み合わせを「ビルド」と呼びます。最新のビルドには、それまでに公開されたすべての修正が含まれています。

「Web サイトとドキュメント」の定義

ESET 製品に関する以下の Web サイトとドキュメントを指します。

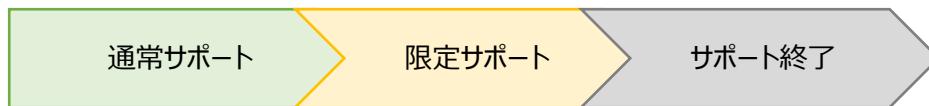
- 以下のドメインでご提供する Web サイト
 - <https://eset-info.canon-its.jp/>
 - <https://eset-support.canon-its.jp/>
 - <https://canon-its.jp/>
 - <https://help.eset.com/?lang=ja>
- 上記 Web サイト、および、サポートセンターからご提供するマニュアル、手順書などの PDF ドキュメント

4. サポートの内容

サポートの提供状況（サポートステータス）には3段階あり、プログラムの公開後、通常サポート / 限定サポートを経て、サポート終了となります。サポート終了に達すると、すべてのサポートが提供されなくなります。

サポートステータスとその提供期間は、機能アップデートごとに設定されます
なお、特定の機能アップデートが「通常サポート」または「限定サポート」にある場合、主にそのバージョンの最新ビルド（特定の機能アップデートで利用可能な最新のサービスアップデート）をサポートすることを意味します。

例) V11.0とV11.1の通常サポート期間は異なります。
V11.0にV11.0.1024.0とV11.0.2032.0の2つのビルドが存在するとき、これらの通常サポート期間は同じですが、主なサポート対象はV11.0.2032.0です。



提供されるサポート内容には以下があり、プログラムの種類やサポートステータスによって提供されない場合や提供内容に制限がある場合があります。

- 検出エンジン（ウイルス定義データベース）の配信
- モジュール（ウイルス・スパイウェア対策モジュールなど）の配信
- ユーザーズサイトでのプログラムの提供
- リポジトリサーバーでのプログラムの提供
- サポートセンターによる各種お問い合わせ対応
 - ※ お問い合わせ時にご利用のビルドでの問題解決をお約束するものではありません。サポート中のバージョンをご利用でも、最新以外のサービスアップデートをご利用の環境に関するお問い合わせをいただいた場合には、最新のサービスアップデートへのバージョンアップをお願いする場合があります。これは、最新のサービスアップデートでお問い合わせいただいた問題がすでに解決されている可能性があるためです。
- Web サイトとドキュメントの更新・提供
- 機能アップデートやサービスアップデート公開によるプログラム（インストーラーを含む）の既知の問題や脆弱性への対応
 - ※ ESET 社は、問題の重大度 / 影響を受けるユーザー数 / 商業的、および、技術的な実現可能性を鑑み、脆弱性やバグの修正有無やその修正時期を決定します。修正を行う場合は、新しい機能アップデートでのみその修正を実装する場合があります。その場合、既存バージョンが通常サポート期間であっても、既存バージョンに対して修正は実装されません。既にリリースされているバージョンに修正を実装する場合、その修正は通常サポート期間のバージョンに限定され、限定サポート期間のバージョンには実装されない場合があります。
- 機能アップデート公開による新 OS への対応
 - ※ Windows OS の大型アップデートへの対応を含みます。

5. プログラム・サービスの分類

ESET 社は、プログラムをカテゴリ-A～D の 4 つに分類し、カテゴリごとにライフサイクルポリシーを定義します。

なお、プログラムコンポーネントについては、特に断りのない限り、そのプログラムコンポーネントが属するプログラムバージョンと同じサポートステータス、サポート期間が適用されます。

例) ESET Inspect Connector V1.11 のサポート終了日は、ESET Inspect on-prem V1.11 のサポート終了日と同じ日付です。

カテゴリ	対象プログラム	記載ページ
カテゴリ-A	<Windows 向けクライアント用プログラム> <ul style="list-style-type: none"> • ESET Endpoint Security • ESET Endpoint アンチウイルス <Windows Server 向けクライアント用プログラム> <ul style="list-style-type: none"> • ESET Server Security for Microsoft Windows Server • ESET File Security for Microsoft Windows Server <Mac 向けクライアント用プログラム> <ul style="list-style-type: none"> • ESET Endpoint Security for OS X • ESET Endpoint アンチウイルス for OS X <Linux Desktop 向けクライアント用プログラム> <ul style="list-style-type: none"> • ESET Endpoint アンチウイルス for Linux <Linux Server 向けクライアント用プログラム> <ul style="list-style-type: none"> • ESET Server Security for Linux • ESET File Security for Linux 	P.9
カテゴリ-B	<オンプレミス型セキュリティ管理ツール> <ul style="list-style-type: none"> • ESET PROTECT on-prem • ESET Management エージェント 	P.13
カテゴリ-C	<Android 向けクライアント用プログラム> <ul style="list-style-type: none"> • ESET Endpoint Security for Android <オンプレミス型 XDR> <ul style="list-style-type: none"> • ESET Inspect on-prem <暗号化プログラム> <ul style="list-style-type: none"> • ESET Full Disk Encryption • ESET Endpoint Encryption Client • ESET Endpoint Encryption Server <プロキシ> <ul style="list-style-type: none"> • ESET Bridge 	P.16

カテゴリー	対象プログラム	記載ページ
カテゴリーD	<クラウド型セキュリティ管理ツール> • ESET PROTECT <クラウド型 XDR> • ESET Inspect <クラウドサンドボックス> • ESET LiveGuard Advanced <クラウドアプリケーションセキュリティ> • ESET Cloud Office Security	P.18

以降のページで、各カテゴリーのライフサイクルポリシーを説明します。

6. カテゴリーA ライフサイクルポリシー

対象プログラム
<ul style="list-style-type: none"> • ESET Endpoint Security • ESET Endpoint アンチウイルス • ESET Endpoint Security for OS X • ESET Endpoint アンチウイルス for OS X • ESET Endpoint アンチウイルス for Linux • ESET Server Security for Microsoft Windows Server • ESET File Security for Microsoft Windows Server • ESET Server Security for Linux • ESET File Security for Linux

カテゴリーAは、Windows / Mac / Linux 向けクライアント用プログラムが対象となります。通常サポート、限定サポートのサポート内容、提供条件については以下のとおりです。

<提供するサポート内容>

サポート内容	通常サポート	限定サポート	サポート終了 *1
検出エンジン（ウイルス定義データベース）の配信	○	○	×
モジュール（ウイルス・スパイウェア対策モジュールなど）の配信	○	○	×
ユーザーズサイトでのプログラムの提供	○	△*2	×
リポジトリサーバーでのプログラムの提供	○	○	×
サポートセンターによる各種お問い合わせ対応	○	△*3	×
Web サイトとドキュメントの更新・提供	○	△*4	×
機能アップデートやサービスアップデート公開による、プログラム（インストーラーを含む）の既知の問題や脆弱性への対応	○	△*5	×
機能アップデート公開による新 OS への対応	○	×	×

*1) サポート終了後も、ESET 社、または、キヤノン MJ が必要と判断したメッセージ通知などは予告なく実施される可能性があります。

*2) 不具合や脆弱性の内容、修正状況によっては、プログラムの提供を終了する場合があります。

*3) 最新バージョンへのバージョンアップや、一般的な操作手順に関するお問い合わせのみ対応します。

*4) ESET 社、および、キヤノン MJ が必要と判断した場合のみ更新します。

*5) 重大な不具合や脆弱性にのみ対応します。不具合や脆弱性が重大であるかどうかは、ESET 社の判断に基づきます。

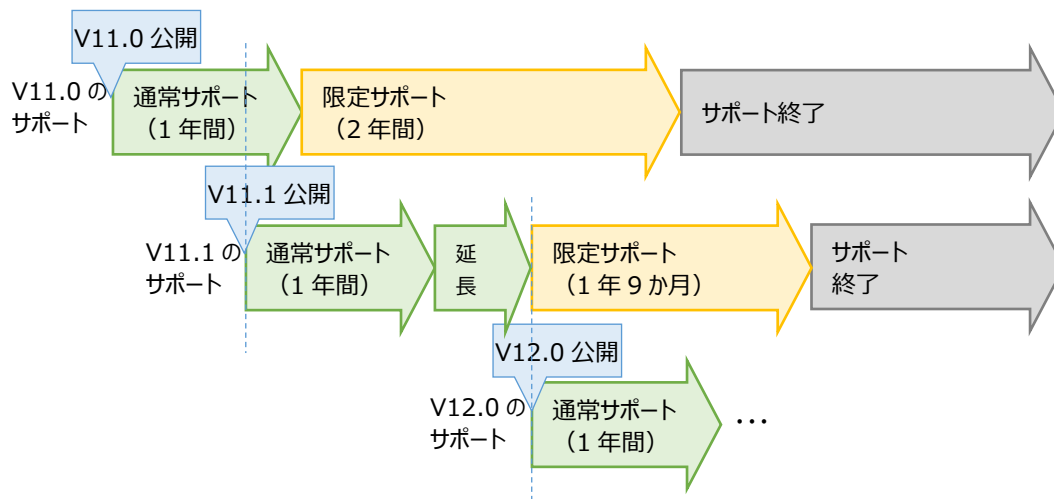
<提供条件>

通常サポート、ならびに、限定サポートの提供条件が変更されました。
 2023年9月以前に ESET 社が公開したプログラムについては、旧提供条件が引き続き適用となり、既に決定しているサポート終了日が変更されることはありません。旧提供条件については後述の「▼旧提供条件」をご参照ください。

通常サポート	プログラムの公開日から1年間提供します。 ただし、1年以内に次のバージョンが公開されない場合は、次のバージョンの公開まで、最新バージョンに対する通常サポートを延長して提供します。
限定サポート	通常サポートから移行後、2年間提供します。 ただし、通常サポートが延長されていた場合は、その分限定サポートが短縮され、サポート終了日は変わりません。

なお、上記提供条件において、プログラム（バージョン）の公開は、ESET 社による公開を意味します。日本国内のお客さまには、キヤノン MJ でプログラムの品質確認を行った後、キヤノン MJ より公開を開始いたします。プログラムやバージョンによっては、公開までに1か月以上要する場合があります。

例) V11.0、V11.1（V11.0の公開から1年以内に公開）、V12.0（V11.1の公開から1年3か月後に公開）とプログラムが公開された場合



▼旧提供条件

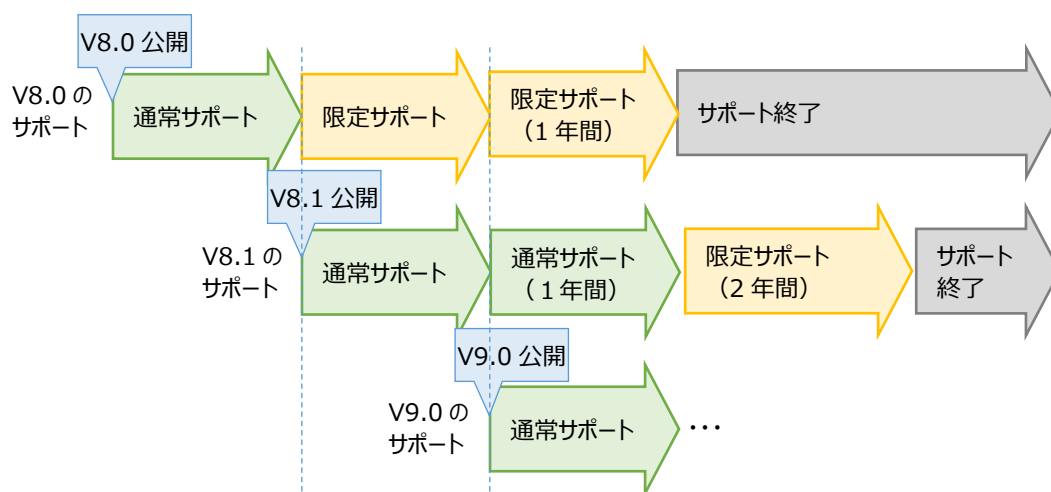
適用対象プログラム：2023年9月以前にESET社から公開された以下のプログラム

- ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルス V10.1 以前
- ESET Endpoint Security for OS X V6.11 以前
- ESET Endpoint アンチウイルス for OS X V7.4 以前
- ESET Endpoint アンチウイルス for Linux V10.1 以前
- ESET Server Security for Microsoft Windows Server / ESET File Security for Microsoft Windows Server V10.0 以前
- ESET Server Security for Linux / ESET File Security for Linux V10.0 以前

通常サポート	<p>最新バージョンに対して、次のバージョンが公開されるまで提供します。</p> <p>ただし、次のバージョンが新しいメジャーバージョンの場合、新しいメジャーバージョンの公開日から1年間、通常サポートを延長して提供します。</p> <p>例) V8.0 の通常サポート</p> <p>次のバージョンが V8.1 の場合 →V8.1 の公開日まで、通常サポートを提供します。</p> <p>次のバージョンが V9.0 (新しいメジャーバージョン) の場合 →V9.0 の公開日から1年間、通常サポートを提供します。</p>
限定サポート	<p>通常サポートが終了すると、自動的に限定サポートに移行します。</p> <p>次のバージョンが同じメジャーバージョンの新しいマイナーバージョンの場合、その後公開される新しいメジャーバージョンの公開日から1年間、限定サポートを提供します。</p> <p>次のバージョンが新しいメジャーバージョンの場合、通常サポートの終了から2年間、限定サポートを提供します。</p> <p>例) V8.0 の限定サポート</p> <p>次のバージョンが V8.1 (同じメジャーバージョンの新しいマイナーバージョン) の場合 →V8.1 の公開日から V9.0 の公開日の1年後まで、限定サポートを提供します。</p> <p>次のバージョンが V9.0 (新しいメジャーバージョン) の場合 →V9.0 の公開日の1年後から2年間、限定サポートを提供します。</p>

なお、上記提供条件において、プログラム（バージョン）の公開は、ESET社による公開を意味します。日本国内のお客さまには、キヤノン MJ でプログラムの品質確認を行った後、キヤノン MJ より公開を開始いたします。プログラムやバージョンによっては、公開までに1か月以上要する場合があります。

例) V8.0、V8.1、V9.0 とプログラムが公開された場合



7. カテゴリーB ライフサイクルポリシー

対象プログラム
<ul style="list-style-type: none"> ESET PROTECT on-prem ESET Management エージェント

カテゴリーBは、オンプレミス型セキュリティ管理ツールが対象となります。
通常サポート、限定サポートのサポート内容、提供条件については以下のとおりです。

<提供するサポート内容>

サポート内容	通常サポート	限定サポート	サポート終了 *6
モジュール（ウイルス・スパイウェア対策モジュールなど）の配信	○	○	×
ユーザーズサイトでのプログラムの提供	○	△*7	×
リポジトリサーバーでのプログラムの提供	○	○	×
サポートセンターによる各種お問い合わせ対応	○	△*8	×
Web サイトとドキュメントの更新・提供	○	△*9	×
機能アップデートやサービスアップデート公開による、プログラム（インストーラーを含む）の既知の問題や脆弱性への対応	○	×	×
機能アップデート公開による新 OS への対応	○	×	×

*6) サポート終了後も、ESET 社、または、キヤノン MJ が必要と判断したメッセージ通知などは予告なく実施される可能性があります。

*7) 不具合や脆弱性の内容、修正状況によっては、プログラムの提供を終了する場合があります。

*8) 最新バージョンへのバージョンアップや、一般的な操作手順に関するお問い合わせのみ対応します。

*9) ESET 社、および、キヤノン MJ が必要と判断した場合のみ更新します。

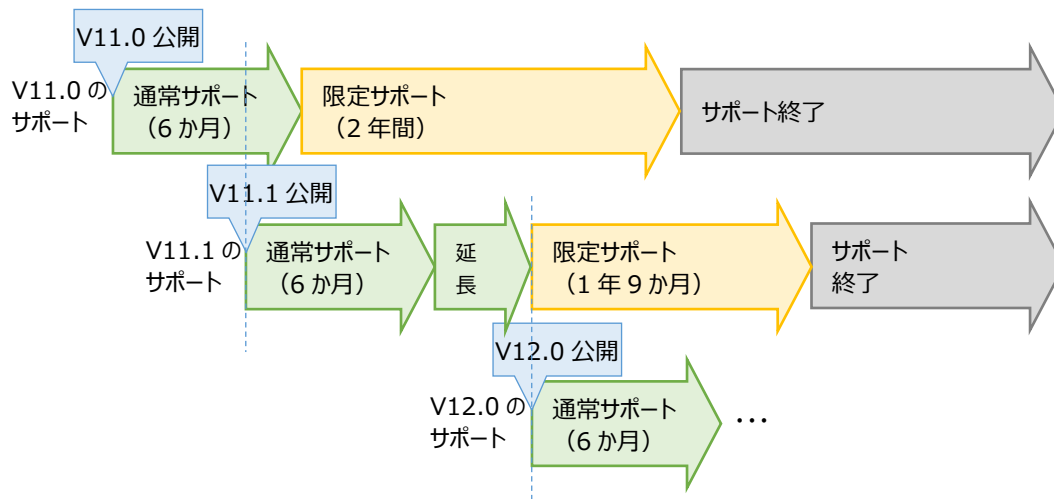
<提供条件>

通常サポート、ならびに、限定サポートの提供条件が変更されました。
 2023年9月以前に ESET 社が公開したプログラムについては、旧提供条件が引き続き適用となり、既に決定しているサポート終了日が変更されることはありません。旧提供条件については後述の「▼旧提供条件」をご参照ください。

通常サポート	<p>プログラムの公開日から 6 か月間提供します。</p> <p>ただし、6 か月以内に次のバージョンが公開されない場合は、次のバージョンの公開まで、最新バージョンに対する通常サポートを延長して提供します。</p>
限定サポート	<p>通常サポートから移行後、2 年間提供します。</p> <p>ただし、通常サポートが延長されていた場合は、その分限定サポートが短縮され、サポート終了日は変わりません。</p>

なお、上記提供条件において、プログラム（バージョン）の公開は、ESET 社による公開を意味します。日本国内のお客さまには、キヤノン MJ でプログラムの品質確認を行った後、キヤノン MJ より公開を開始いたします。プログラムやバージョンによっては、公開までに 1 か月以上要する場合があります。

例) V11.0、V11.1（V11.0 の公開から 6 か月以内に公開）、V12.0（V11.1 の公開から 9 か月後に公開）とプログラムが公開された場合



▼旧提供条件

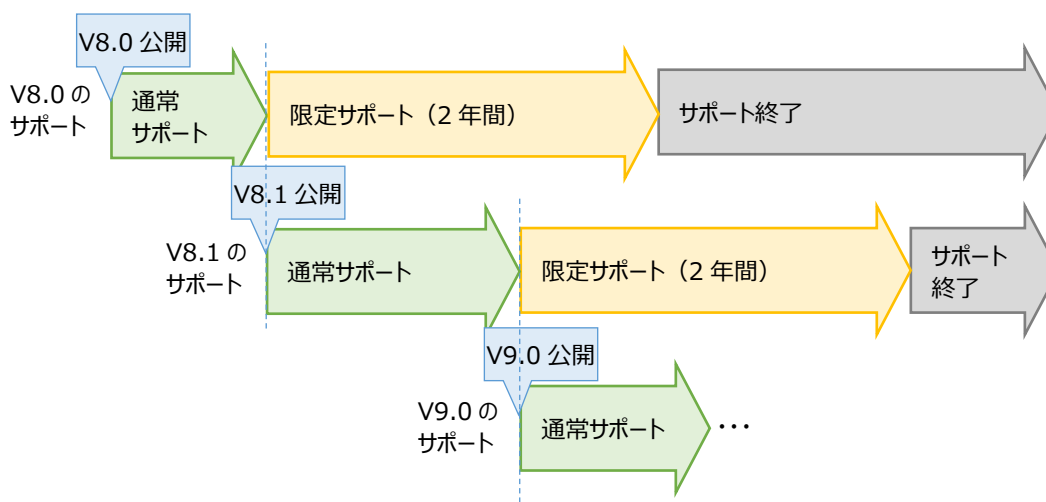
適用対象プログラム：2023年9月以前にESET社から公開された以下のプログラム

- ESET PROTECT on-prem V10.1 以前
- ESET Management エージェント V10.1 以前

通常サポート	最新バージョンに対してのみ提供します。次のバージョン（メジャーバージョン、または、マイナーバージョン）が公開されると、限定サポートに移行します。
限定サポート	通常サポートから移行後、2年間提供します。

なお、上記提供条件において、プログラム（バージョン）の公開は、ESET社による公開を意味します。日本国内のお客さまには、キヤノン MJ でプログラムの品質確認を行った後、キヤノン MJ より公開を開始いたします。プログラムやバージョンによっては、公開までに1か月以上要する場合があります。

例) V8.0、V8.1、V9.0とプログラムが公開された場合



8. カテゴリーC ライフサイクルポリシー

対象プログラム
<ul style="list-style-type: none"> • ESET Endpoint Security for Android • ESET Inspect on-prem • ESET Full Disk Encryption • ESET Endpoint Encryption Client • ESET Endpoint Encryption Server • ESET Bridge

カテゴリーCは、Android 向けクライアント用プログラム / オンプレミス型 XDR / 暗号化プログラム / プロキシが対象となります。

通常サポート、限定サポートのサポート内容、提供条件については以下のとおりです。

<提供するサポート内容>

サポート内容	通常サポート	限定サポート	サポート終了 *10
検出エンジン（ウイルス定義データベース）の配信 ※ESET Endpoint Security for Android のみ	○	○	×
モジュール（ウイルス・スパイウェア対策モジュールなど）の配信 ※ESET Endpoint Security for Android のみ	○	○	×
ユーザーズサイトでのプログラムの提供	○	△*11	×
リポジトリサーバーでのプログラムの提供 ※ESET Endpoint Encryption Client / Server は除く	○	○	×
サポートセンターによる各種お問い合わせ対応	○	△*12	×
Web サイトとドキュメントの更新・提供	○	△*13	×
機能アップデートやサービスアップデートの公開による、プログラム（インストーラーを含む）の既知の問題や脆弱性への対応	○	×	×
機能アップデート公開による新 OS への対応	○	×	×

*10) サポート終了後も、ESET 社、または、キャノン MJ が必要と判断したメッセージ通知などは予告なく実施される可能性があります。

*11) 不具合や脆弱性の内容、修正状況によっては、プログラムの提供を終了する場合があります。

*12) 最新バージョンへのバージョンアップや、一般的な操作手順に関するお問い合わせのみ対応します。

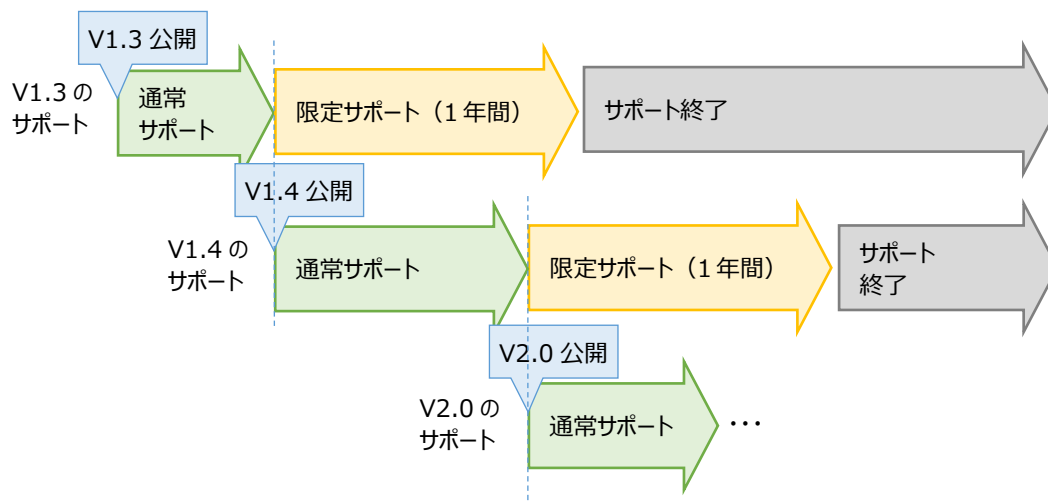
*13) ESET 社、および、キャノン MJ が必要と判断した場合のみ更新します。

<提供条件>

通常サポート	最新バージョンに対してのみ提供します。次の機能アップデートが公開されると、限定サポートに移行します。
限定サポート	通常サポートから移行後、1年間提供します。

なお、上記提供条件において、プログラム（バージョン）の公開は、ESET 社による公開を意味します。日本国内のお客さまには、キヤノン MJ でプログラムの品質確認を行った後、キヤノン MJ より公開を開始いたします。プログラムやバージョンによっては、公開までに1か月以上要する場合があります。

例) V1.3、V1.4、V2.0 とプログラムが公開された場合



9. カテゴリーD ライフサイクルポリシー

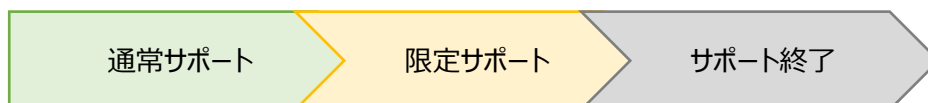
対象サービス
<ul style="list-style-type: none"> • ESET PROTECT • ESET Inspect • ESET LiveGuard Advanced • ESET Cloud Office Security

カテゴリーD は、クラウドサービスが対象となります。
クラウドサービスは、原則 ESET 社により自動でバージョンアップが行われ、常に最新バージョンをご利用いただけます。最新バージョンは通常サポートの対象で、自動バージョンアップが行われる限り、継続して通常サポートを受けることができます。

通常サポート（常に最新バージョンに自動バージョンアップ）

なお、お客さまご自身でのバージョンアップ（移行）が必要と ESET 社が判断した場合など、ESET 社での自動バージョンアップを行わず、旧バージョンの提供を継続することがあります。その場合は、旧バージョンは限定サポートの対象となり、その後サポート終了となります。

※お客さまのご要望により自動バージョンアップを取りやめることはありません。



通常サポート、限定サポートのサポート内容、提供条件については以下のとおりです。

<提供するサポート内容>

サポート内容	通常サポート	限定サポート	サポート終了 *14
クラウドサービスの改善	○	△ *15	×
パッチの提供、またはサービスリリースによる、サービスの既知の問題や脆弱性への対応	○	△ *15	×
新規ユーザーへの展開	○	△ *16	×
サポートセンターによる各種お問い合わせ対応	○	△ *17	×
Web サイトとドキュメントの更新・提供	○	△ *18	×

*14) サポート終了後も、ESET 社、または、キヤノン MJ が必要と判断したメッセージ通知などは予告なく実施される可能性があります。

*15) ESET 社の判断により、必要と判断した場合のみ実施します。

*16) ESET 社の判断により、展開が制限される場合があります。

*17) 一般的な操作手順などのお問い合わせ対応に限ります。

*18) ESET 社、および、キヤノン MJ が必要と判断した場合のみ更新します。

＜提供条件＞

通常サポート	最新バージョンに対してのみ提供します。
限定サポート	ESET 社が旧バージョンの提供を継続すると決定した場合のみ、旧バージョンに対して 1 年間（もしくは事前に設定した期間）提供します。

カテゴリーD に分類される各サービスは、日本国内のお客さまに対しても、すべて ESET 社より公開（バージョンアップ）を実施します。なお、キヤノン MJ でも公開前にサービスの品質確認を行っております。

10. OS サポートについて

ここでは OS サポートに対する考え方を解説します。

ESET 製品は、各 OS ベンダーが設けているサポートポリシーを考慮して対応 OS を決定しますが、場合により例外を設ける可能性があります。

下位互換性について

ESET 製品は、プログラムバージョンの公開時にそのバージョンでの対応 OS をお知らせします。原則として、リリース時に対応した OS はそのバージョンのサポート終了日まで対応します。

ただし、OS やサードパーティコンポーネントの仕様変更などに伴って技術的な制約が生じた場合、該当 OS のサポートを終了する、または制限付きのサポートに変更する場合があります。この時、該当 OS で継続して ESET 製品を利用した場合、ESET 製品が完全に機能しない、または、特定のモジュールアップデートやサービスが受け取れない場合があります。

上位互換性（新 OS 対応）について

新 OS に対しては、新しい機能アップデートの公開によって対応します。

OS によっては、公開済みのバージョンがそのまま動作する場合がありますが、その場合は弊社 Web サイトでお知らせします。

さらに、OS ごとに設けた追加のサポート方針を次ページ以降に解説しますので、合わせてご参照ください。

現在の ESET 製品の各プログラム（バージョン）の対応 OS については、以下をご確認ください。
記載のない OS やバージョンについては、非対応です。

<プログラムバージョン別 対応 OS 一覧表>

▼クライアント用プログラム（Windows / Mac / Linux Desktop / Android）について

https://eset-info.canon-its.jp/files/user/pdf/support/esetbe_os_client.pdf

▼サーバークライアント用プログラム（Windows / Linux）について

https://eset-info.canon-its.jp/files/user/pdf/support/esetbe_os_svclient.pdf

▼オンプレミス型セキュリティ管理ツールについて

https://eset-info.canon-its.jp/files/user/pdf/support/esetbe_os_era.pdf

なお、ESET 製品によるサポート状況にかかわらず、OS ベンダーによるサポート終了後は、サポート終了後に発見された OS の脆弱性が修正されず、脆弱性を悪用した攻撃の対象になりやすくなります。OS は常に最新の状態で利用されることを推奨します。

<Windows>

Windows 8.1 以前について

既にサポート終了日が決定しています。サポート終了までに最新 OS への移行を計画してください。

OS	サポート状況（サポート終了日）
Windows XP	サポート終了済み（2018/01/31）
Windows Vista	サポート終了済み（2020/12/31）
Windows 7（SHA-2 非対応）*19	サポート終了済み（2020/12/31）
Windows 7（SHA-2 対応）*19	サポート終了済み（2023/11/30）
Windows 8	サポート終了済み（2023/11/30）
Windows 8.1	サポート終了済み（2023/11/30）

*19) Windows 7 が SHA-2 に対応するには、Service Pack 1 と Windows 更新プログラム KB4490628 / KB4474419 の適用が必要です。

Windows 10 / Windows 11 について

ESET 社がプログラムを公開する日からさかのぼって 30 か月以内にリリースされたすべての大型アップデートに対応することを原則とします。
プログラムの公開後、新しい大型アップデートに対応する際は、通常サポート期間のバージョンのサービスアップデートでの対応となる場合もあります。

Windows Server について

サポート状況は以下のとおりです。

ESET 製品の各バージョンのサポート終了に伴い、OS のサポートも終了になる場合があります。サポート終了までに最新 OS への移行を計画してください。

OS	サポート状況（サポート終了日）
Windows Server 2003	サポート終了済み（2020/12/31）
Windows Server 2008	サポート終了済み（2022/6/30）
Windows Server 2008 R2（SHA-2 非対応）*20	サポート終了済み（2020/12/31）
Windows Server 2008 R2（SHA-2 対応）*20	サポート終了済み（2023/11/30）
Windows Server 2012	サポート中
Windows Server 2016	サポート中
Windows Server 2019	サポート中
Windows Server 2022	サポート中

*20) Windows Server 2008 R2 が SHA-2 に対応するには、Service Pack 1 の適用と Windows 更新プログラム KB4490628 / KB4474419 の適用が必要です。

<macOS>

macOS については、最新バージョンとそれ以前の 3 つのバージョン（計 4 つのバージョン）をサポートします。

※ macOS 向け ESET プログラムは V7 から本ルールに則り、旧 OS のサポートを以下の通り変更します。

	V7.4	V6.11
Sierra 10.12	×	○
High Sierra 10.13	×	○
Mojave 10.14	×	○
Catalina 10.15	×	○
Big Sur 11	○	○
Monterey 12	○	○
Ventura 13	○	○
Sonoma 14	○	○

<Android>

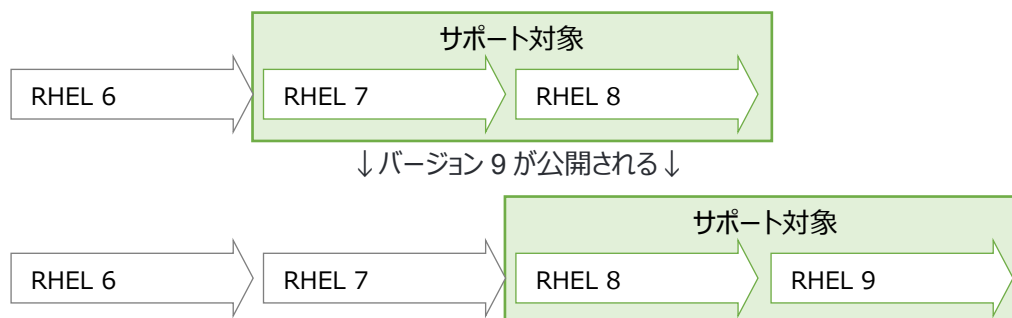
追加のサポート方針はありません。

<Linux>

サポートする各ディストリビューションについて、合計 2 つのメジャーバージョン（最新バージョンと 1 つ前のバージョン）をサポートすることを原則とします。新メジャーバージョンがリリースされると、古いメジャーバージョンのサポートを終了します。また、1 つのメジャーバージョンの中に複数のマイナーバージョンが存在する場合は、常に最新マイナーバージョンをサポートします。

新メジャーバージョン（新 OS）には、通常サポート期間の ESET バージョンで対応します。この際、ESET 社は新しいバージョンを公開して対応する場合があります。

例) RedHat Enterprise Linux (RHEL) に新しいメジャーバージョンが公開された場合



11. その他互換性について

<プログラム間の互換性>

セキュリティ管理ツール（ESET PROTECT）のバージョンと、管理できるクライアント用プログラムの組み合わせは以下をご確認ください。

記載のない組み合わせについてはサポート対象外です。

▼セキュリティ管理ツールで管理可能なクライアント用プログラム対応表

https://eset-info.canon-its.jp/files/user/pdf/support/management_correspondence.pdf

<サードパーティ製アプリケーションとの互換性>

ESET 製品と特定のサードパーティ製アプリケーションまたはコンポーネントに互換性がある場合は、Web サイトに情報を掲載いたします。

ただし、サードパーティ側のサポート状況やアップデートにより、従来と同様の互換性を維持できない場合、ESET 製品が一部または完全に機能しなくなる、または、特定のモジュールアップデートやサービスが受け取れなくなる場合があります。

12. 変更履歴

更新日	バージョン	更新内容
2021/08/16	第 1 版	新規公開
2021/09/09	第 2 版	以下のプログラムを本資料の対象に追加 (カテゴリ-C に分類) <ul style="list-style-type: none"> ・ ESET Endpoint Encryption Client ・ ESET Endpoint Encryption Server
2021/12/01	第 3 版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下のプログラムを本資料の対象に追加 (カテゴリ-A に分類) <ul style="list-style-type: none"> - ESET Server Security for Microsoft Windows Server - ESET Server Security for Linux ・ カテゴリ-C の以下の注釈を削除 ----- ※ESET Endpoint Encryption Client の場合は、次のバージョン（メジャーバージョン、マイナーバージョン、または、ビルド）が公開されると、限定サポートに移行します。 -----
2022/3/31	第 4 版	プログラム名称の変更に伴い、「ESET LiveGuard Advanced」の記載を追加（カテゴリ-D）
2022/4/18	第 5 版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下のプログラムを本資料の対象に追加 <ul style="list-style-type: none"> - ESET Inspect（カテゴリ-C に分類） - ESET Cloud Office Security（カテゴリ-D に分類） ・ カテゴリ-A～C の＜提供するサポート内容＞の「ユーザーズサイトでのプログラムの提供」について、限定サポートでの提供を「△」に変更
2022/7/25	第 6 版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「2. ライフサイクルポリシーの目的」に注釈（※）を追加 ・ 「9. OS サポートについて」を追加
2022/11/24	第 7 版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下のプログラムを本資料の対象に追加 (カテゴリ-D に分類) <ul style="list-style-type: none"> - ESET Inspect Cloud
2023/2/6	第 8 版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下のプログラムを本資料の対象に追加 (カテゴリ-C に分類) <ul style="list-style-type: none"> - ESET Bridge ・ Windows 7 / 8 / 8.1、Windows Server 2008 R2 のサポート終了日を追加（9. OS サポートについて）

更新日	バージョン	更新内容
2023/10/17	第 9 版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下のプログラムを本資料の対象に追加 (カテゴリーB に分類) <ul style="list-style-type: none"> - ESET Management エージェント ・ サポート終了につき以下のプログラムを本資料の対象から削除 <ul style="list-style-type: none"> - ESET Enterprise Inspector ・ 「3. ライフサイクルポリシーの前提」に機能アップデート、サービスアップデートの定義を追加 ・ 「4. サポートの内容」を追加 ・ 「6. カテゴリーA ライフサイクルポリシー」「7. カテゴリーB ライフサイクルポリシー」を修正 <ul style="list-style-type: none"> - 通常サポートと限定サポートの提供ルールを変更 - 限定サポートの「リポジトリサーバーでのプログラムの提供」を○に変更 ・ 「10. OS サポートについて」を修正 <ul style="list-style-type: none"> - 下位互換性について追記、補足 - Windows 11 の下位互換性をリリース前 36 か月以内から 30 か月以内に変更 - Mac の下位互換性を最新を含む 4 世代と明記 ・ 「11. その他互換性について」を追加
2024/2/29	第 10 版	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム名称の変更に伴い、以下の通り記載を変更 <ul style="list-style-type: none"> - 「ESET PROTECT」→「ESET PROTECT on-prem」 (カテゴリーB) - 「ESET Inspect」→「ESET Inspect on-prem」 (カテゴリーC) - 「ESET PROTECT Cloud」→「ESET PROTECT」 (カテゴリーD) - 「ESET Inspect Cloud」→「ESET Inspect」 (カテゴリーD)